

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 道路環境課
 担当名: 防災担当
 内線: 5107

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P14	橋りょう修繕費			一般会計	土木費	道路橋りょう	橋りょう維持費	橋りょう修繕費	
事業期間	昭和46年度～	根拠法令	道路法			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	9, 11
						分野施策	0102 大地震に備えたまちづくり	SDGsターゲット	9-1, 11-7
1 事業概要 橋梁の計画的な修繕を実施し、適切に保全することにより、道路利用者の安心安全を確保する。 橋りょう補修事業（アセット）指定経費 △5, 119千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 橋りょうの補修事業（アセット）指定経費 橋りょうの老朽化による損傷状況に応じた修繕を計画的に実施し、長寿命化を図る。 イ 橋りょうの補修事業（アセット）指定経費外 横断歩道橋の老朽化による損傷状況に応じた修繕を計画的に実施し、長寿命化を図る。 ウ 既設橋りょうの維持修繕 点検やパトロール等で発見した緊急的に補修が必要な橋りょうの維持修繕を実施する。 エ 橋りょうの耐震性向上 大規模地震の発生に備え、橋りょうの耐震補強を実施する。 事務費の節減による減額補正 △5, 119千円 (2) 事業計画 ア 一般県道次木杉戸線（宝珠花橋）（春日部市） 外150箇所 イ 一般県道東京朝霞線（総合高校前歩道橋）（新座市） 外11箇所 ウ 応急修繕（管内全域） エ 主要地方道保谷志木線（いろは橋）（志木市） 外45箇所 (3) 事業効果 ア 埼玉県橋りょう保全計画に位置付けられた橋りょうを延命化することで、ライフサイクルコストを縮減する。 イ 横断歩道橋維持管理計画に位置付けられた横断歩道橋を延命化することで、ライフサイクルコストを縮減する。 ウ 道路災害を未然に防止することにより、地域生活の安心・安全に大いに寄与する。 エ 橋りょうの耐震補強を完了させ、大規模地震に対応する。 (4) その他 負担対象：新荒川大橋外3橋 負担率 : 1/2 対象経費：新荒川大橋外3橋の修繕に要する経費 相手方 : 東京都外 工期：R5～R8年度					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 アセット：地方道路等整備事業債 充当率90% (通常分 90%) 交付税措置 なし 耐震：緊急防災・減災事業債 充当率100% (通常分 100%) 交付税措置 通常分70%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9, 500千円×1. 6人=15, 200千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		諸収入	県債						
決定額	△5, 119		△5, 000					△119	9, 134, 541
現計額	9, 139, 660	125, 000	8, 925, 000					89, 660	

事業内訳書

事業名	橋りょう修繕費		
単位事業名	橋りょう補修事業（アセット 指定経費）	予算額	△ 5,119千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	△5,000	—	県単独道路建設事業債
一般財源	△119	—	
合計	△5,119	—	

○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△746	—	事務費の節減による減
需用費	△3,824	—	事務費の節減による減
役務費	△549	—	事務費の節減による減
合計	△5,119	—	